

令和元年度 大阪府立寝屋川支援学校第1回学校運営協議会 議事録

開催日時	令和元年6月26日(水) 9:30~11:30			
開催場所	大阪府立寝屋川支援学校 校長室			
出席者	委員	職名等	学校	校務分掌等
	加藤 美朗	関西福祉科学大学教育学部准教授	太田 正義	校長
	窪田 知子	滋賀大学教育学部准教授	岡本 智	准校長
	山崎 淳	寝屋川市立梅が丘小学校長	石川 昌義	事務部長
	辻 行雄	一般社団法人 エル・チャレンジ L's College おおさか校長	藤田 太朗 和田 泰英	教頭 教頭
	今泉 知之	タスクローレル サービス マスター事業部 代表者	角尾 将司	首席
	大槻 千春	寝屋川支援学校PTA会長	西田 宜弘 門田 悠	首席・小学部主事 首席
			植屋 正美 林 尚美	首席・高等部主事 中学部主事
			安井 悠子 日置 節子	進路指導主事 指導教諭
	傍聴者	なし		
協議資料	大阪府立寝屋川支援学校学校運営協議会実施要項 平成31年度学校経営計画 ICT機器・進路指導・防災について 令和2年度使用教科用図書選定理由書・使用教科書一覧表			
議題等	①平成31年度学校経営計画について ②ICT機器の活用について ③キャリア教育プログラムについて ④センター的機能の現状について ⑤防災について ⑥進路指導の取り組みについて ⑦令和2年度教科用図書選定について			
協議内容・承認事項等 (意見の概要)	<p>(1) 運営協議会委員及び事務局員の自己紹介の後、会長に辻委員、副会長に窪田委員を選出した。</p> <p>(2) 平成31年度学校経営計画について、中期的目標及び本年度の取り組み等については太田校長より、高等部については岡本准校長より専門性の向上と人権意識の向上について説明があった。</p> <p>(3) 「魔法のプロジェクト 2019」の採択校としてヒューマノイド型ロボットの活用をはじめとするICT機器の活用について、日置指導教諭より報告があった。</p> <p>(4) 本校の新キャリア教育プログラムの活用について、門田首席より報告があった。</p> <p>(5) 本校のセンター的機能発揮の現状について、地域支援、支援教育地域支援整備事業、北河内支援学校相談サポートセンター等について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(6) 本校における防災の取り組みとして今年度実施予定の災害時児童生徒引き渡しシミュレーション及び本校のBCPに沿った初期対応訓練、避難所宿泊体験について、角尾首席より報告があった。</p> <p>(7) 進路指導の取り組みについて、平成30年度高等部卒業生進路先、実習先企業開拓、校内での取り組み等について、安井進路指導主事より報告があった。</p> <p>(8) 運営協議会委員による協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の向上は重要な課題であり、呼称の問題等を含めてみんなで考えるということが大事であり、引き続き議論されることが必要であることが確認された。 ・キャリア教育プログラムについては、色分けされている点など工夫されており、個人的なプロフィールや凹凸が分かりやすいものになっている。教員間での共有や保護者との共有、また学習評価とのリンク等が課題であるとの意見があった。 ・高等部卒業後は自立訓練や就労移行に進むことが増えており、障がい者福祉の現状も変化してきている。福祉サービスを利用しながら卒業後もゆっくと学んでいくことも見通した高等部教育ということについても、教員は知識を蓄えながら取り組んでいく必要があるとの意見があった。 ・保護者も自立訓練や就労移行を経て、就労を目指せることを感じている。10年~20年後にその子に何が必要なのかを考えることが重要である等の意見があった。 <p>(9) 令和2年度教科書選定について、教科用図書選定理由書、使用教科書一覧表等について、和田教頭より報告があった。</p> <p>(10) 第2回及び第3回学校運営協議会を令和元年12月16日(火)と令和2年2月(日時未定)の9時30分から11時30分に本校にて開催することを確認した。</p>			